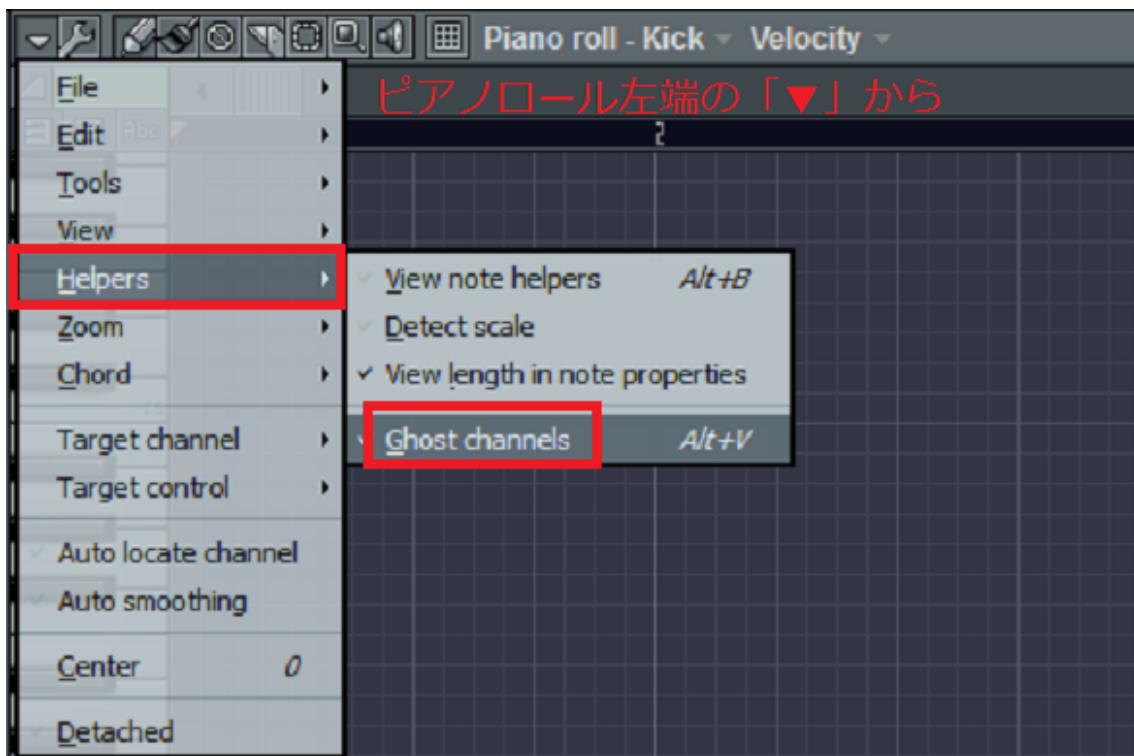


## D T M講座－資料

ちょっとしたテクニク的なものを紹介するこのコーナー。  
まずは、こちら。

### 1 : ゴーストノーツの表示

自分が打ち込んだノートを表示させたい場合、次のSSによって表示をオンオフすることができます。



メイン講師はよく使ってますが、あまり皆さん使ってないご様子。

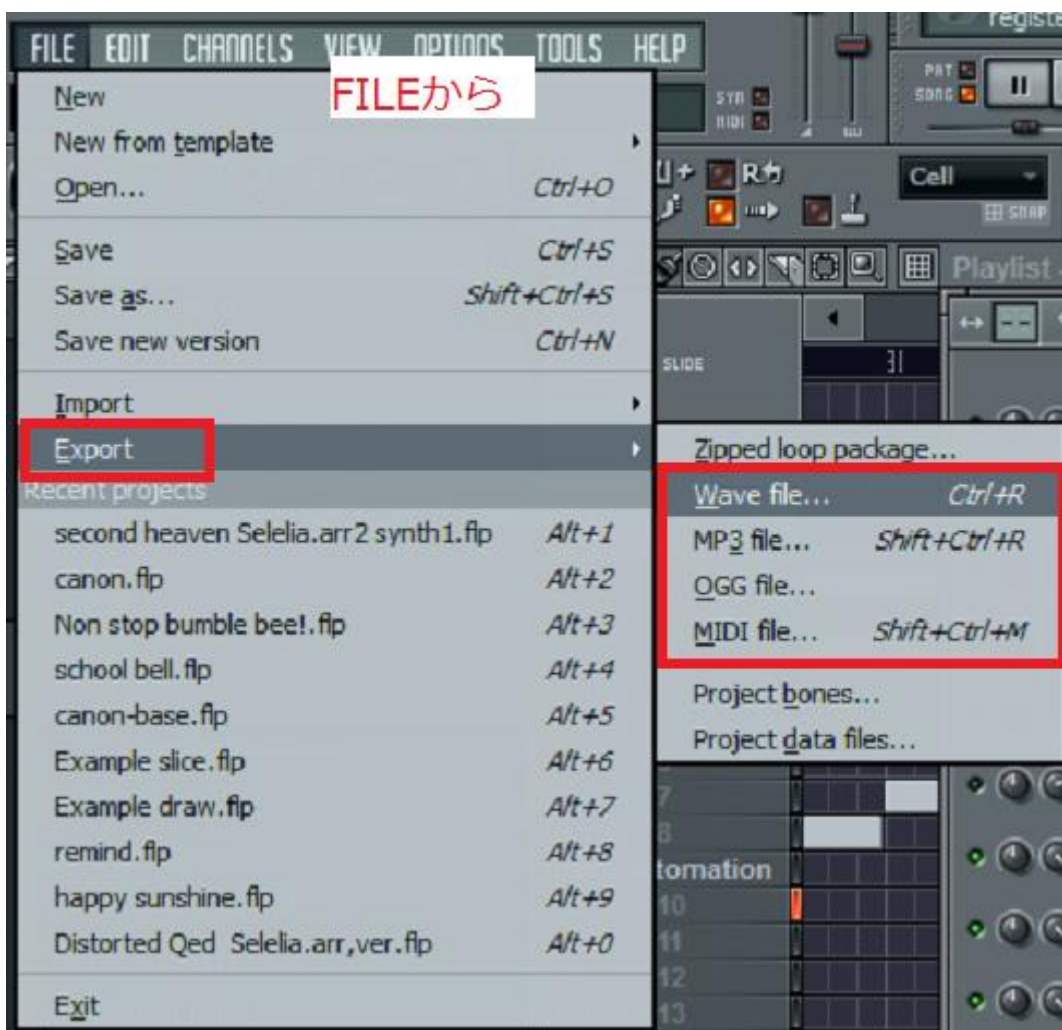
### 2 : 出力の方法

Mp3、wav、ogg、MIDI の4種類に出力できます。

ゲーム等ではoggをよく使うのでオススメ。

単に聞くだけならmp3、wavでいいかと。

手順はコチラ。



なんか余計なもんも見えてますが、気にしない。

その次に何かウィンドウが出てきますが、そのままの状態です「start」しましょう。「background rendering」するとバックグラウンド実行してくれたりします。

出力が完了するまで、一休みでもしましょう。

休むことも大事ですよ？

あ、一応何かウィンドウが出るってことで、どんなウィンドウか次のページに載せておきました。参照どうぞ。

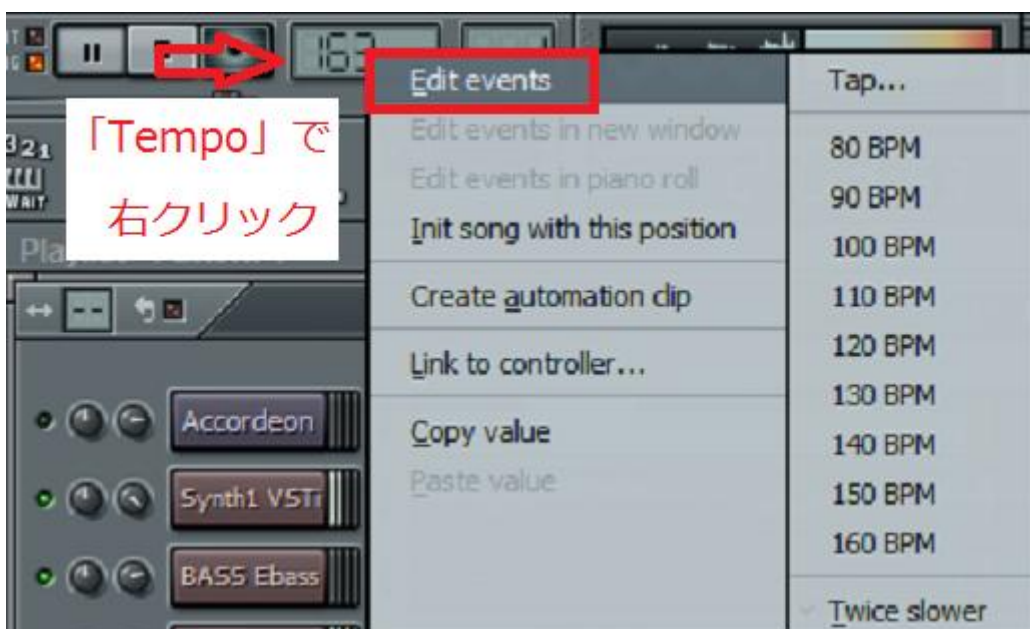


では次です。

### 3 : 途中でBPMを変化させる方法

音ゲーなら「ソフラン」という名で通ってるはずです。

そのやり方。コチラ



実際にBPMをいじるウィンドウがコチラ



BPMをいじるウィンドウでは

- 1 : マウスのホイールをスクロールさせると表示する小節線の間隔を調節できる。
- 2 : 最低BPM10～最高BPM999までできます。
- 3 : メニューの下の方に、ポイントされてる場所のBPMが表示されている。
- 4 : 基本的にピアノロールウィンドウと仕様は変わらない。

続きます。

4 : スライサーのファイルインポートについて

第8回のレジュメにあった通り、デスクトップから直接 wav ファイルをインポートしてくる方法は教えました。

今回は、チャンネルボタンから直接インポートする方法をお教えします。



図にあるとおりにクリックすると、インポートするファイルを選択するウィンドウが出てきますので、探して、「開く」で wav ファイルがインポートされます。

#### 5 : 音に合わせてスライスする方法

ふつう、スライサーに wav ファイルを上書きすると、自動的に音ごとに切ってくれて、それをピアノロールにアサインしてくれるのですが…

稀にアサインしてくれない時があります。

音ごとに切ってくれた方が使いやすいので、そのやり方を教えます。



スライスに関する設定のボタンから、上記「Medium auto-」か「Sharp auto-」を選んでいただくと、音ごとに切ってくれます。

これだけです。

Medium と sharp の違いは、実際に使ってみてください。

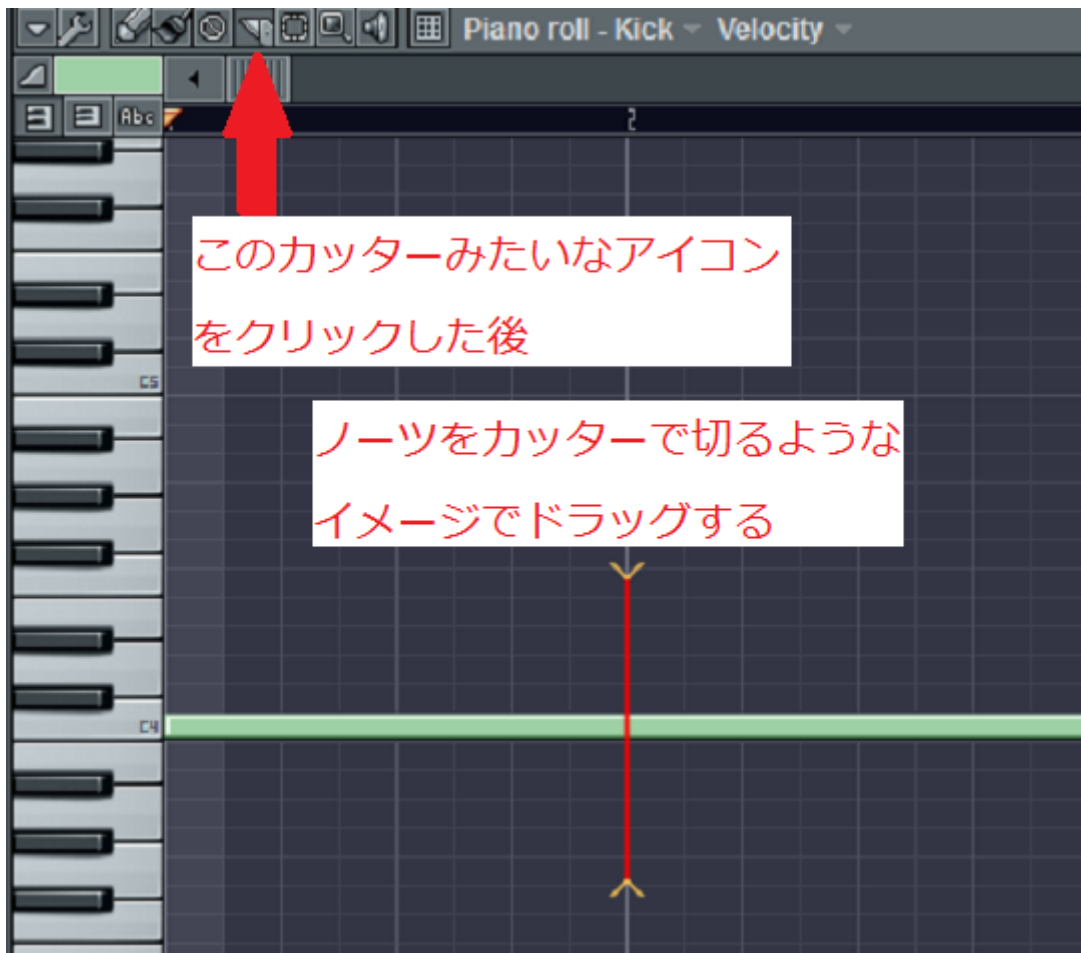
多分切る数が違うと思います。

まだ続くよ。

## 6 : 長い音符をいろいろする方法

長い音符は、まあ、短くしたくなることもありますよね。

そんな時、フツに打ち込みでやったように左右矢印カーソルにして長さを調節すればいいんですが、ちょっとおもしろい方法を紹介します。



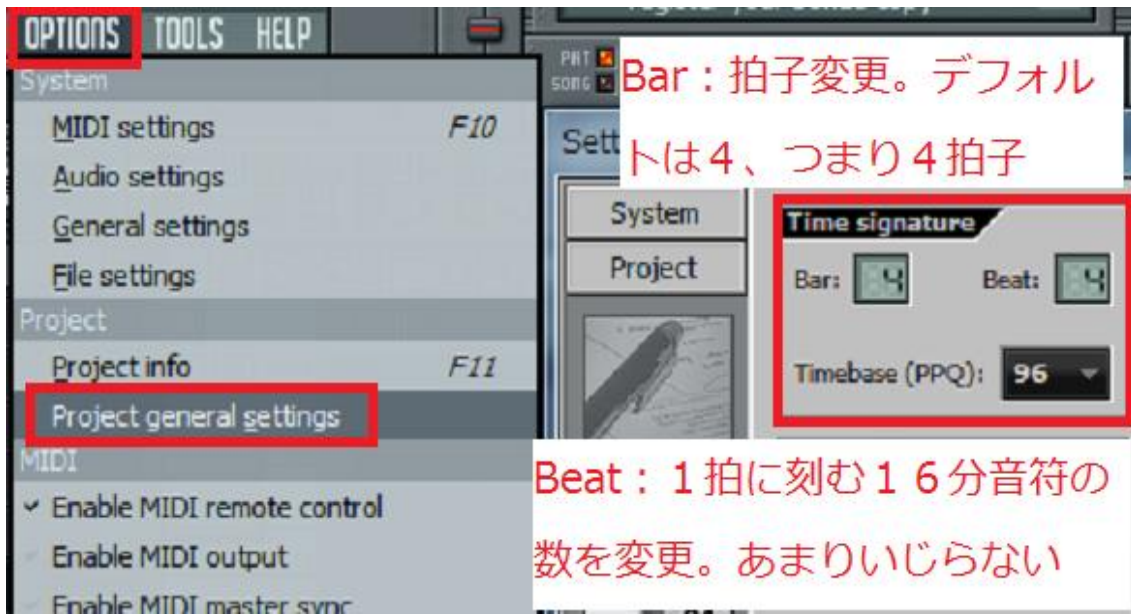
「スライス」っていいです。「スライサー」じゃないですよ。

ちなみに右クリック&ドラッグだと赤い線より左側のノーツを削除してくれます。

## 7 : 拍子、1 拍のビートの変更方法

どっかの回で多分言ったと思いますが、拍子変更は

「OPTIONS」→「Project general settings」からできる、と言いましたが、k w s k やるとこんな感じ。



拍子変更だけであれば、チャンネルウィンドウからできます。





ちなみに、**チャンネルウインドウから拍子変更した場合は、「そのパターンにのみ」適用されます**のでご注意ください。

逆に、**OPTIONS から拍子変更した場合は、「全てのパターンに」適用されます**。

とりあえず、操作関係でメイン講師の知りうる知識は出し切ったつもりです。

何度も繰り返しますが、慣れていくのが一番大事なことです。

打ち込みに関して、さらに広い世界が開けたんじゃないかなーとか思ってます。

3拍子の曲作れるよ！！やったね！！

この資料集は、あくまでも「小ネタ」的なものなので、頭の片隅にでも入れておいてくれれば本望なわけでした…

必要に応じて参照してください。